平成 25 年度　とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

「大田原市須賀川地区」

第 3 回活動報告　 H25･12･7(土)

第３回夢大地応援団カレッジ活動が 12 月７日、大田原市須賀川の旧須賀川小学校で、宇都宮文星短期大学の学生・職員 5 名と地元やみぞあづまっぺ協議会員 11 名、県農村振興課、那須農業振興事務所など関係者 5 名の合わせて 21 名が参加して開かれ、紅茶のゴミ取りやトウガラシの葉摘みといった農作業や蕎麦打ち体験などを行いました。

今年度のカレッジ活動は、宇都宮文星短大生が大田原市須賀川のやみぞあづまっぺ協議会員のもとを訪れ、第１回が６月１日に 38 名が参加して茶摘みやお茶の手揉み加工を体験、第２回が７月６日に 27 名が参加して荒れた茶畑の復元作業を行ってきました。今回参加した学生のうち３名は１回目から参加しており、「地域の人と楽しくボランティア活動ができた。これからも機会があったら参加したい」と口を揃えていました。

映画のロケ地としても有名な旧須賀川小学校校舎を背にして記念撮影を行いました

鈴木やみぞあづまっぺ協議会長（右端）が学生を前に歓迎あいさつ

紅茶のゴミ取りの指導を受けて　⇒

根気のいる作業に真剣に取り組む学生たち

まずは地元の江戸流蕎麦打ち名人（左端）の話を聞いて、いよいよ実技へ。肝心な水回し

水回しのあとこねた粉がやっとまとまってきてひと安心

うまく延ばしていくのにまた悪戦苦闘

細くまっすぐに切るのも大変です

自分で打った蕎麦はそれぞれお持ち帰り

名人の打った蕎麦やギンナンおこわ、手づくりコンニャク、ゼンマイの煮つけ、サトイモ、ユズみそといったすばらしい食べ物が並んだ昼食にみんな大感激でした

昼食の後はトウガラシの葉摘み作業

紅茶の入れ方を教わる

紅茶を飲みながらお別れの交流をする

3回にわたるカレッジ活動のお礼を述べる文星短大職員

文星短大とやみぞあづまっぺ協議会双方への感謝の言葉を述べる黒﨑県農業振興公社ＧＬ